



著者プロフィール

高田正子（たかだ・まさこ）

1959年 岐阜県生まれ

1990年 「藍生」創刊と同時に参加

1994年 第一句集『玩具』

1997年 藍生賞受賞

〈句集『花実』より転載〉〈2005年9月10日時点〉

『花実』（自選十五句）

高田 正子

くみおきて水に木の香や心太
瀧の影瀧におくれて落ちにけり
遠くまで遊びに来しよ霞の花
あをぞらのゆつくりうごく小春かな
花のうへ花湧き出でてひかりけり
大釜に飯炊きあがる桜かな
足跡の乾いてをりぬ梅の花
亀の子のすつかり浮いてから泳ぐ
軽鳧の子の一羽は眠りきれずをり
かなたより空かげりくる山法師
夕顔に月の光の髪生まれ
千枚の田を貫いて天の川
冬菜畑さへきるもののなかりけり
一木の炎の形して枯るる
流れたき形に水の凍りけり